



## くだもの み しゅし 果物の実と種子のちがいはなに

### み みずけ えきか かんか 実には水気たっぷりの液果と、かわいた乾果とがある

しぼう おお み かじつ しゅく すいぶん  
子房がふくらんで大きくなったものを実、あるいは果実といいます。熟すにつれて、水分  
をおお えきか くだもの  
を多くふくむようになるものを液果といいます。ふつう、果物とよばれているリンゴ、モモ、  
えきか しゅく すいぶん うな かんか  
スイカ、ブドウなどはみな液果です。熟すにつれ水分を失い、かわいてくるものを乾果とい  
み  
い、マメ、クリ、タンポポなどの実がそうです。

### くだもの た ぶぶん 果物によって、食べる部分はちがっている

しぼう こま み がいかひ ちゅうかひ ないかひ  
子房をさらに細かく見ていくと、外果皮、中果皮、内果皮にわけられます。カキやモモの  
ばあい かわ ぶぶん がいかひ た ぶぶん はったつ ちゅうかひ ないかひ  
場合、皮をむいている部分が外果皮で、食べている部分は発達した中果皮です。内果皮にあ  
ぶぶん たね まわ じょう ぶぶん たね はい  
たる部分は、カキでは種の回りのゼリー状の部分、モモでは種の入っているかたいからです。  
すこ ようす ちゅうおう しろ ぶぶん しぼう ぶぶん  
リンゴでは少し様子がちがいで、中央にある白い部分が子房の部分で、モモやカキでいえば  
みぜんたい た ぶぶん なに はな しぼう  
実全体にあたります。では、食べている部分は何かということ、花びらや子房などをのせてい  
ぶぶん かたく ふと  
た部分（花托）が太ったものです。

### たね ぶぶん た くだもの 種の部分を食べている果物

たね しぼう なか はいしゅ しゅく わ で  
種は、子房の中の胚珠が熟したものです。モモでは、かたいからを割ると出てきます。カ  
たね やさい くだもの たね ぶぶん た  
キでは、カキの種がそうです。野菜や果物には、この種の部分を食べているものがあります。  
マメやクリがそうです。（監修・中山 周平）

